

旧赤羽中学校

施設概要			敷地条件		
校舎	延床面積	7,544.05 m ²	所在地	志茂 1-19-14 (赤羽東地区)	
	建設年度	昭和34年度	敷地面積	9,144.17 m ²	
	改修年度	昭和61年度	用途地域	第一種住居地域 (北側：近隣商業地域)	
	耐震補強	平成20年度	建ぺい率	60% (北側：80%)	
体育館	面積	769.52 m ²	容積率	300% (中心部：200%)	
			高度地区	南側：第3種 (最低限) 中心部：第2種 北側：第3種	
	建設年度	昭和49年度	防火地域	準防火地域【新たな防火規制】 (南側：防火地域)	
	耐震補強	平成20年度	所有関係	区：100%	
運動場	4,800 m ²	日影規制	5時間/3時間 (中心部：4時間/2.5時間)	土地相場	(路線価÷0.8÷0.95) ÷33.1 億円

■ 現況及び経過

平成21年3月：プールを撤去し、プレハブ校舎2棟を設置

平成21年4月：適正配置計画により赤羽中と岩淵中の学区域を統合し、岩淵中の位置に配置

平成21年4月～平成26年3月：岩淵中に新校舎を建築するまでの間、赤羽岩淵中の仮校舎として利用

平成26年4月～平成27年4月：赤羽会館耐震補強工事に伴い、区役所機能 (赤羽地域振興室等) を仮移転

平成27年9月～平成30年3月：なでしこ小改築に伴う仮校舎として使用中

■ 留意事項

【国庫補助金】

・利活用後の用途によっては、補助金の返還が必要になるが、基金に積み立てることで返還免除となる。

【地域防災計画等】

・志茂地域は、「東京都防災都市づくり推進計画 (平成28年3月)」において、都内28地域が指定された整備地域 (地域危険度が高く、かつ特に老朽化した木造建築物が集積するなど震災時の甚大な被害が想定される地域) の一つである。

・志茂1丁目は相対的に危険度が高いまちであり、総合危険度 (建築倒壊や延焼の危険性) は5段階中「4」である。「東京都・地震に関する地域危険度測定調査 (平成25年9月)」

【地歴】 農地 → 岩淵高等小学校 → 岩淵高等国民学校 → 北区

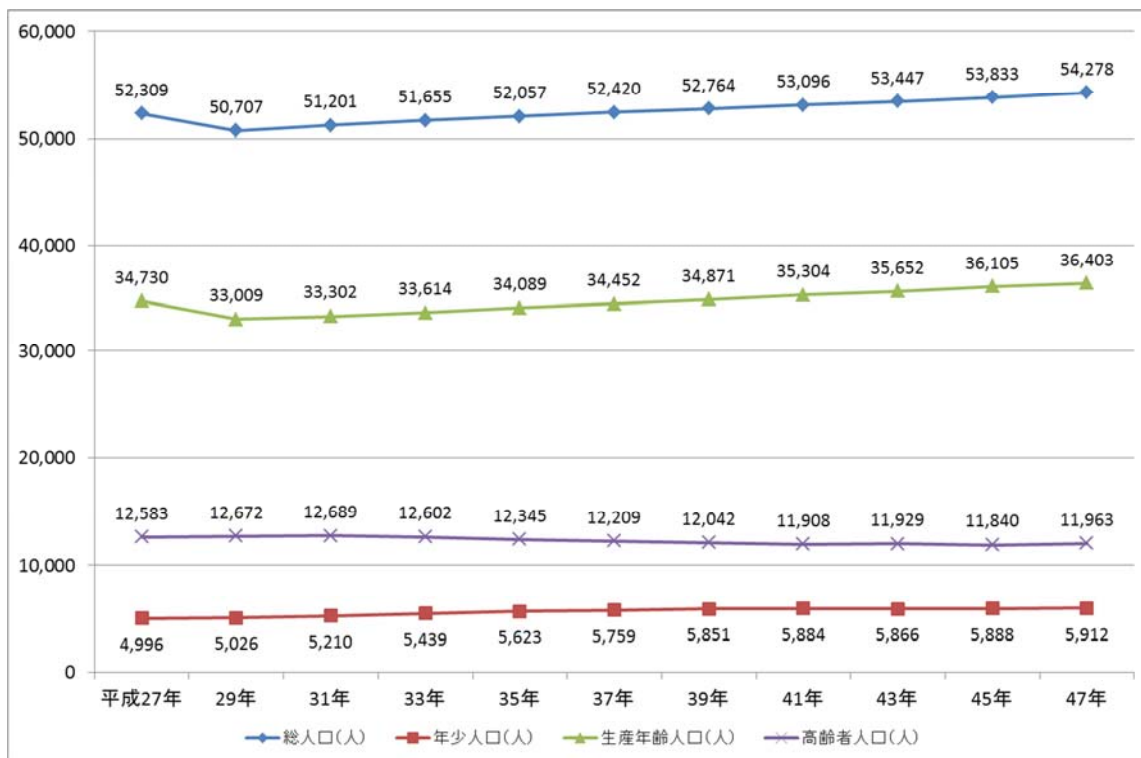
【今後必要な手続き】

・今後敷地の分筆等に向けて、近隣との境界確定を行う必要がある。

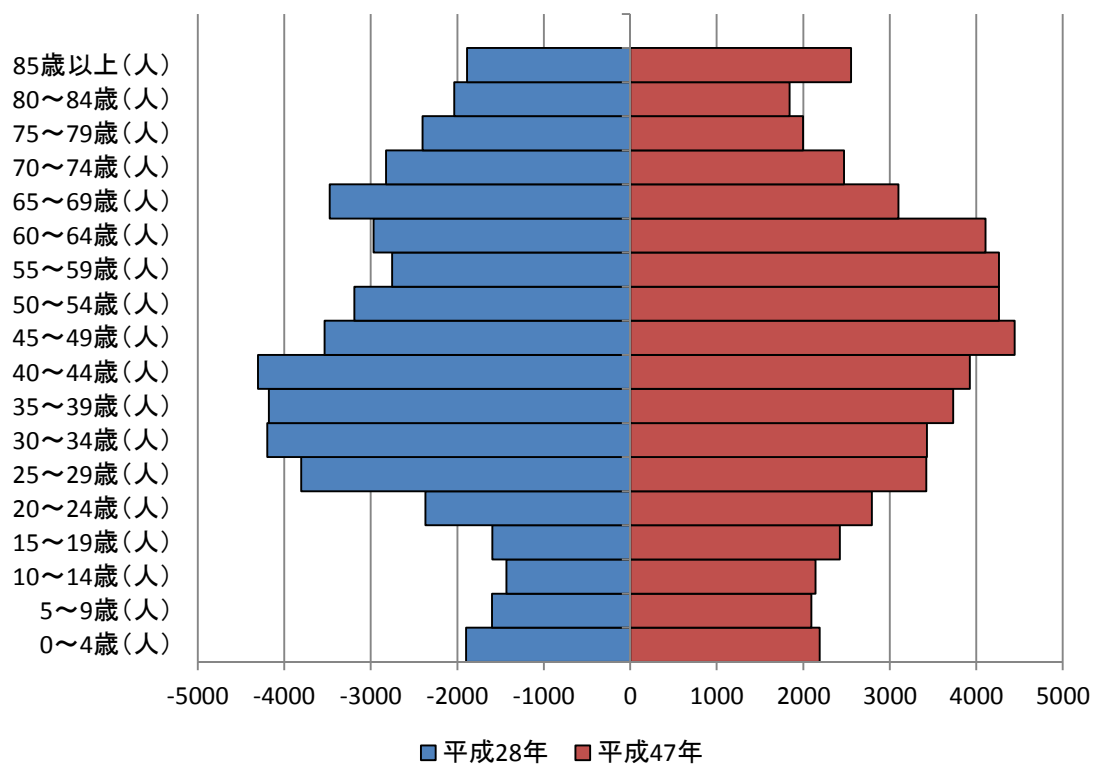
【その他】

・学校敷地面積の一部が都市計画道路区域になっているため、実際に利活用できる敷地は、上記敷地面積より少なくなる。

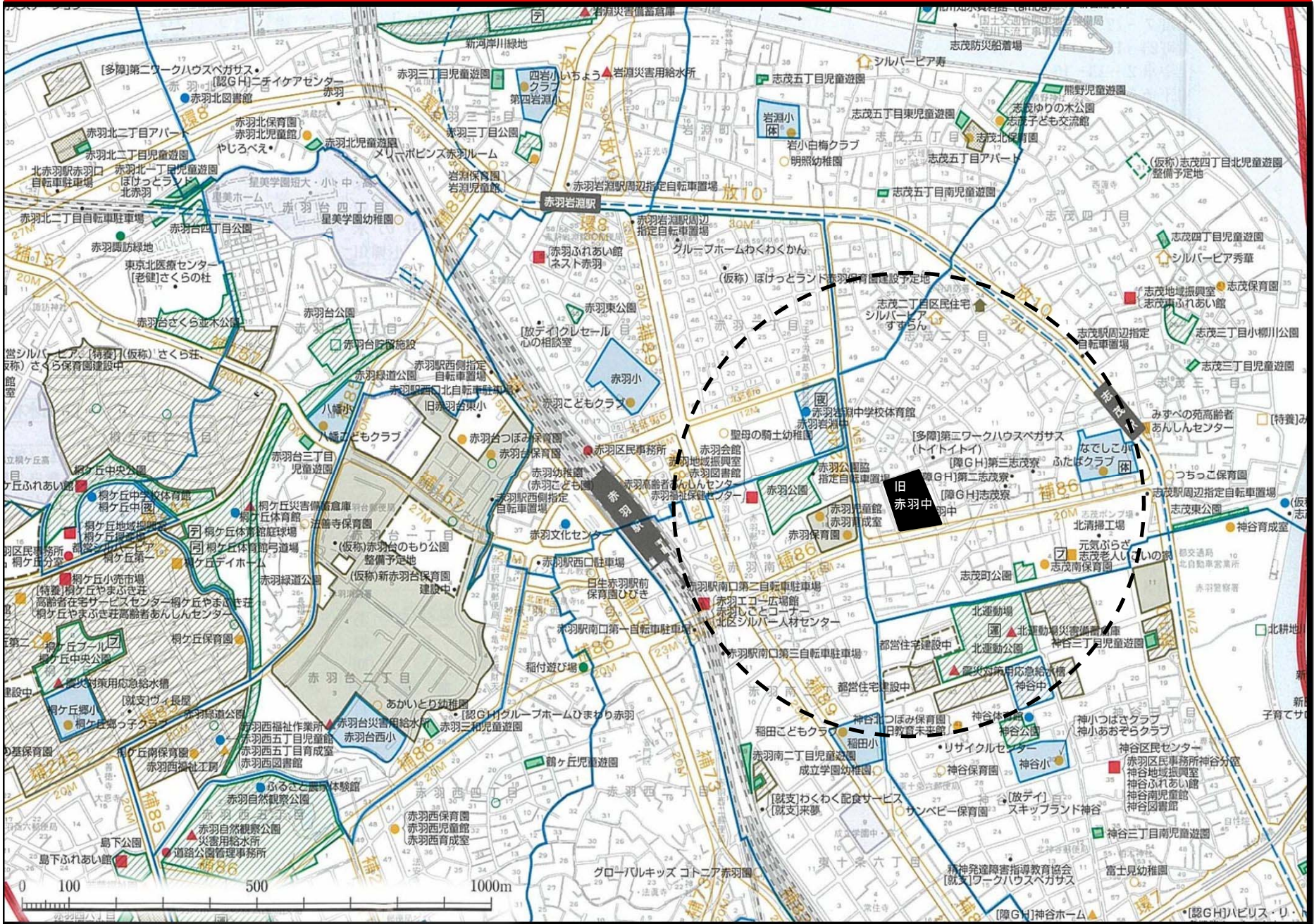
図表 1：赤羽東地区における人口の推移・推計



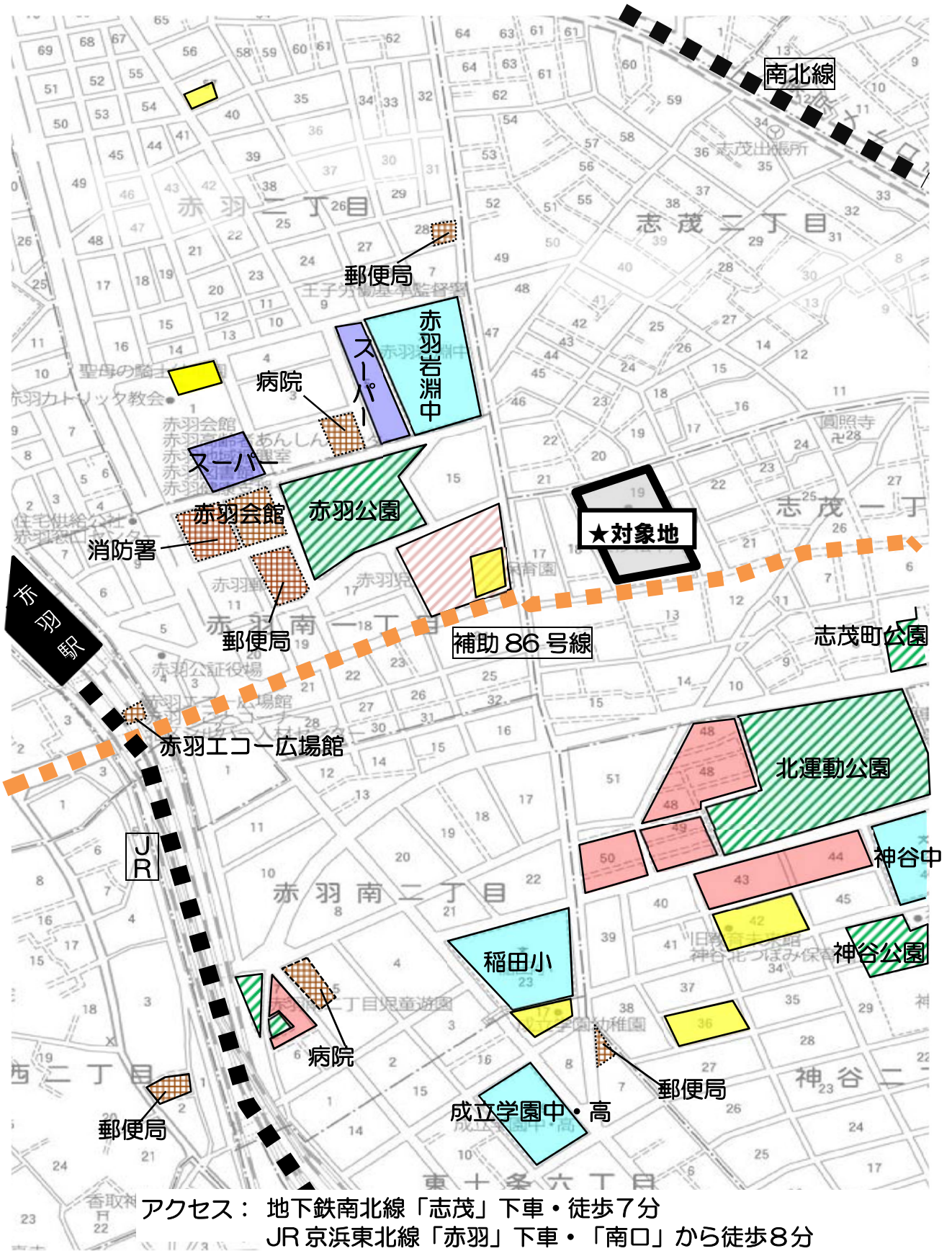
図表 2：赤羽東地区における将来人口ピラミッドの推移


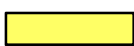


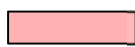






旧赤羽中学校 ~周辺公共施設等~



旧赤羽中学校



- | | | | |
|---|---|--|--|
|  学校 |  保育園・幼稚園 |  民間企業 |  公園 |
|  都営住宅 |  公社住宅 |  道路 |  線路 |
|  消防署・病院・郵便局等公共施設 |  駅 | | |